



### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

岐阜県立池田高等学校では、これまで実践してきた様々な取組みを踏まえ、「Global Welfare (地域・国際社会の中でよりよく生きる)」を学校理念として、「福祉教育」、「国際理解教育」、「環境教育」を柱に、平成26年12月に加盟申請を行い、27年4月23日付で岐阜県の公立高校で初めてユネスコスクールに承認されました。承認1年目の本校の取組みを紹介します。



#### (1) 福祉教育 (Welfare education)

教育課程の中に福祉教育を位置づけるとともに、地域でのボランティア活動や、保育園・小中学校・特別支援学校・福祉系専門学校との連携による活動を通して、人を思いやる心や感謝する心など、生徒の福祉マインドを育成しています。



人権講話では、岸田ひろ実先生に「バリア・バリューで人生を変える。～絶望を希望に～」(11/4)、腰塚勇人先生に「命の授業～今の幸せに気づくことから夢は広がる～」(2/9)のご講演をいただきました。また、今年度から3年の選択科目に「社会福祉基礎(2単位)」を新設し、地域の福祉施設の協力を得て体験的な授業を受けられるようになりました。同じく今年度から揖斐特別支援学校との交流学习も始まりました。病院での看護体験のインターンシップは年々参加者が増えています。生徒の自主的な活動組織である生徒会やMSリーダーズ、ボランティア会による地域の清掃活動や保育園、福祉施設等への訪問、特別支援学校でのボランティア養成講座等、年間を通して様々なボランティア活動を行なっています。今後、これらの活動をさらに充実発展させていきます。



#### (2) 国際教育 (Global education)

コミュニケーションを重視する授業や国際交流活動等を通して、他人と連携し協調する能力、プレゼンテーションの技術等を学ぶとともに、国際的な視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材を育てることを目的に進めています。生徒たちは、英語スピーチコンテストやライオンズクラブ主催の英語弁論大会に積極的に参加し、本校の習熟クラスでは英語検定受検を必須として、語学力の向上に努めています。その他、大垣ユネスコ協会のワークショップ(10/31)に参加して外国の方々と交流、外務省国際情報官室上席専門官を本校に招き「未来の世界を考えてみよう」のテーマで講演会を実施



(11/9)、そして2月に、池田町教育委員会の助成を得て、現在ユネスコスクールへの加盟申請中である池田中学校の生徒10名とともに、本校から5名の生徒が8泊9日の日程(2/13-2/21)で、ニュージーランドへの海外派遣研修に参加しました。ホームステイをしながら当地の高校で授業を受け、語学力やコミュニケーション能力を高めるとともに、の育成だけではなく、福祉の先進事例として、幼稚園や老人福祉施設を訪問するなど、言語、文化、社会、自然環境などについて広く体験的に学びました。

### (3) 環境教育 (Environmental education)

地域の豊かな自然環境を保護する活動を通して、自然を大切に作る心を育てるとともに、地域の課題を解決するために自ら進んで取り組むことのできる能力や態度を育成しています。

昨年度より科学部が、池田町教育委員会及び岐阜経済大学森教授の指導のもと、池田町上八幡にある湧水地において、環境省から絶滅の恐れのある個体群に選定された淡水魚ハリヨの生息調査や保護活動に参加するとともに、ホタルが生息する東川の環境保全のため、定期的な水質調査を行い、河川環境を校内の水槽に再現しています。



岐阜県の公立高校初のユネスコスクールとして、地域の持続可能な発展に貢献する池田高校が歩み始めた取組みに今後ともご支援をお願いいたします。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他( )